



## —湾岸・アラビア半島地域ニュース—

### イラン：経済状況

(4月16、17日付イラン報道)

#### 1. インドによるイラン産原油の引き取り (16日付ケイハーン・インターナショナル紙)

Petrologistics (ジュネーブに本拠を置く組織で OPEC 諸国から出港するタンカーを追跡して算定している) のデータによると、2012年第1四半期では、インド (日量 43 万 3 千バレル) が中国 (日量 25 万 6 千バレル) を抜き、イラン産原油の引き取り先第 1 位となった。インドのイラン産原油引取量は、前年同期比で 23% の増加となっている。

#### 2. 政府による外国為替政策 (17日付イラン・ニュース紙)

ホセイニー経済財務大臣は、イラン暦 1391 年 (2012 年 3 月 20 日～2013 年 3 月 20 日) の政府による外国為替政策について、公式レートで販売される外貨に関しては価格を維持し、非公式レートでの販売に関しては段階的に調整すると発言した。ホセイニー大臣はまた、本年は外国為替管理を続行し、1 ドル=12,260 リヤルの取引レートを維持するよう努めたいと述べた。

#### 3. イラン海上石油会社 (IOOC) 総裁の発言 (17日付イラン・ニュース紙)

イラン海上石油会社 (IOOC ; Iranian Offshore Oil Company) のマフムード・ズィーラクチャーザーデ (Mahmoud Zirakchianzadeh) 総裁は、世界最大の FSU タンカー (浮体式貯蔵設備) を購入していると述べた。同総裁は、タンカーの規模は原油 220 万バレル積載可能なもので、200 万バレル積載の浮体式ターミナルは既に世界中で操業していると加えた。

#### 4. ケニア産紅茶の輸入増加 (16日付イラン・ニュース紙)

イランはケニア産紅茶の主要輸出先となった。1 月のケニアからの紅茶輸入量は、前年同期比 1,271% 増の約 110 万トンに上り、2 月も前年同期比 113% 増の約 26 万 4 千トンとなった。ケニアの主要輸出先 (英国、エジプト、スーダン、アフガニスタン、パキスタン) のシェアは 5 カ国で 74% にも上り、ケニアは販売先の分散化に取り組んでいた。

#### 5. ゴミ焼却による発電計画 (16日付ケイハーン・インターナショナル紙)

テヘラン市のガリバーフ市長は、国内初となるゴミ焼却による発電を計画していると発表した。過去にも外国企業による事業化調査が行われていたが、土地使用を含めた制限により事業化に至らなかった。

#### 6. 国内フィルタリング・ネットワーク構想 (16日付イラン・ニュース紙)

通信情報技術省は、国内フィルタリング・ネットワークを構想している。ファールス通信が報じた内容によると、ウェブサイトはユーザーによって閲覧される前に、国家規模で検閲・フィルタリングを行われるようになる。同省は、ポルノサイトは社会にモラル上悪影響を与えるものであり、イスラム教育に真っ向から反するものであると述べている。